

日刊日曜日... 印刷部... 電話... 郵便...

座講識常... コンクールとは競争... 音楽等には公開の演奏会を開いて演奏者と作者との成績を認めよう...

産聯平出張所管内 三十六組合の活動

昨年の擔保貸五十三萬八千圓 貯金は二百九萬二千圓

石城郡一團及び双葉郡熊野村以南の同郡下を合せて三十六組合の貯金並に貸出を取扱つてゐる信用組合聯合平出張所は各町村組合の總元格で一月六萬圓乃至七萬圓毎に少くも二萬圓の出入高に上つてゐる昨九年度の總取扱額は縣聯合會直接に行ふ信用貸出を除く擔保貸(主として米)五十五萬八千四百三十二圓次に貯金は三百九萬二千三百圓何れも九年二月一日から十年一月三十一日に至るもので年度末現在貸金十二萬圓貯金三十七萬八千圓これが前記

今日の俵米共販値 下落觀と保合ひ説

一般から好歩調の見込薄

石城郡販聯に於ける今二十一日の出荷は左記の如く七百四十俵で競争入札に附された開札は午後四時過ぎの爲め詳細は未だなかつたが一般米商に豫想されるものを綜合すると持米薄でも即今の賣米に困じて居ると云ふ程ではなく加ふるに最近の定期が落調を踏んで居り旁々前日より高値は見込まれず或は一俵一圓台割を見るものもあるだらうとの下落觀測と大体同一植項でな

日召氏集まる同情

夫人に

東京小管刑務所に謹慎の日を送る血盟盟の盟主井上日召氏の其の後が世人の記憶から漸く忘れられんとする折柄愛児亮子(五)さんと共に同氏の不在を守る夫人敏子(五)さんは女の手に一つで生活の不安に悩み日召氏の留守を母子二人に正しき生活をたどるべく若き頃に経験をもつ看護婦の經營を病弱(香蘭)の身に難々しくも企てられてゐることは東都各新聞紙上に報導された爲め深く同情を寄せられた無名氏から本社宛に金五十圓を添えて送られたことは昨紙所報の如くであるが本紙によつて更に今二十一日飯野村の無名氏からも金五十圓の同情があり我が社では近日中に纏まるだけの資金を一括し東京市本郷區上富土前町七三に居住する夫人の訴に附することに於て左記の同情金の受領に代へる次第である尙ほ昨紙掲載無名氏の書状中「狐の腕」とあるは一腋の誤植につき訂正いたします

神谷實行組合 果樹聯合協議

果樹聯合協議

神谷村上片寄農事實行組合同村果樹組合の聯合總會は今二十一日午前十時から同村公會堂で開催兩組合の豫算決算を別個に審議後今年度の協同事業計畫を協議したが郡農會兼田技手、神谷農試齋藤場長、矢ヶ崎技手臨席した

獄中で知り合つた 男の實家から詐欺

親切にかしに妻女を偽り

當時住所不家無職宮城縣桃生郡鹿又村生れ窃盜前科四犯星太郎(三)は昨年中宮城刑務所に服役中此も窃盜罪で服役中の磐崎村大字上湯長谷栗谷宗太郎と獄中で知り合ひになつたが去る二月中出獄した太郎

廿年來の小作地を 取上げられて傷害

新小作人の横暴に憤慨して 加害者は平素温情な男

平窪村大字上平窪字五反田農夫野千代吉(三)は去る二日午後六時半頃同村岡直久方で部落池の修理祝ひに外廿餘名と祝宴に加はつてゐたが些細の事から同席してゐた同郷居住農藤葉喜藏と口論を始め酒瓶を揮つて喜藏の頭部に全治三週間の裂傷を負はせたので被害者喜藏は二十日平窪に告訴渡部司法主任係りで關係者を取調中であるが喧嘩の原因は加害者千代吉は同村鈴木長之助所有の水田約三反歩を二、三十餘年の久しい間小作してゐたが今春になつて突然所有主の長之助から小作人を取り替へる旨の通知があり温順な千代吉は今二毛作中で取り入れが済むまでの間猶豫して欲しいと懇願してゐる中去年下旬新しく小作人になつた被害者喜藏が無断で耕作を始めたので流石の千代吉も激怒遂に此の兇行になつたものである

妻が日那を告訴 愛児のために日蔭の生活を 清算したが品物を横領され

愛児に絡る告訴事件

平町田町五美容院佐藤みね子(三)さんは數年前から同町南町カフエー花月事久田好雄(四)三の愛児を受け二人の愛児を儲けたが日蔭者の妻生活を厭ひ二人の愛児を母として新しい生活に入るべく去月下旬久田に絶縁状を送つて妻生活を清算したみね子さんは直ちに東京東京市本所區向島小松美客院に働き口を見つけたので家財道具を取纏めるためま十

碧潮會が 解散決定

紛糾解決す

平町在郷軍人分會海軍班の一部に陸軍偏重に對する惡感情から碧潮會を結成して海軍班の獨立運動が計畫されてゐたが曠古の日本大海戦三十週年の記念日を目前にして此の紛糾は面白からずとして有力者に調停斡旋が續けられてゐた結果海軍班副部長鈴木三郎氏が辭任する事になつて圓滿解決成り碧潮會は解散した

倒死体の 身元判明

山仕事の農夫

湯本町野原野原が十九日午後一時半頃同町から約一里餘離れた水野谷諏訪ヶ崎山林で薪伐りの歸途松林内に仕事着のまま倒死してゐる五十五六才農夫の腐爛屍体があるのを発見驚いて届出たので平窪から瓜生部長出張検視の結果右は去十五日仕事に出た同行方不明になつた同町宇水野谷農務喜兵衛(三)で動脈硬化による心臓麻痺で倒死したものと判明した

鼻下長 酌婦に振り れ訴へ出る

好問村中好問居住農石塚福治

好問村中好問居住農石塚福治(三)は昨二十日夜同村料理店鈴木亭に登樓二圓の契約で泊つたが酌婦が相手にしてくれず空床を背負せられて憤慨今二十一日朝平窪に飛び込んで遊興費を許されたから取り返して下さいと訴へ出たが近頃の診事件と苦笑した原告からあべこべにお叱りを受けて退却した

平町青年團 見學旅行記

見學旅行記

一行の一團員
一俺は河原の枯すき... 口すさみつゝも、枯すきの見えない淋しさ。あやめ、眞菰さを満喫した我々も「たとへも... 道歩む人も少く六日月山中一軒家でも、住めば都のチラと見せた夜の道雲包むる模様である、藤田分會長の辭任は聯合分會長であり従来も屢々辭意を洩らしてゐたもので別項の如く分會内部の紛糾も解決したので此れを好機に辭任を申し出たものである

産業方面

果樹に就て

2 齋藤石城分場長
 一種子が發育したならば早く
 敷葉を取り去つて密生したと
 ころは間引くのがよいのであ
 ります。發芽後移植を必要と
 するものはなるべく早く行ふ
 のがよく子葉の未だ附着して
 る間に移植した苗は最も安
 全であります。實生の肥培管
 理は常に充分にすべきであつ
 て移植したものは追肥を必要
 とするのであります。

(一) 挿木法

葡萄や無花果などは挿木に
 よつて苗を養成しその他は砧
 木を養成するために行はれる
 のであります。挿木には枝挿
 と根挿との別があります。枝
 挿は短條法が最も普通に行
 はれ之れに長梢式と一芽引の
 別があります。長梢式は數節
 を附して五、六寸乃至一尺位
 に挿穂をつくり挿入するので
 あります。之れには斜め挿と
 直挿とがあります。一芽とし
 は單に一個の芽を中心として
 その兩端に極めて僅かの皮條
 を附して穂を水平に砂中にさ
 すのであります。之れは温床
 を利用して主として葡萄に行
 ふ方法であります。根挿は
 直徑二、三分の根を一、二寸
 の長さで切り、上下の位置を
 正しく頂部を少しく地表に露
 出して埋土するのであります。
 さし木の時期は通常春期發芽
 前に行ふのがよいのでありま
 す。切り立ての穂を用ひるよ
 りも寧ろ二、三週間前に切り
 取り砂中に貯藏したものを
 用ひる方が成績は良好であり
 ます。

(二) 取木法

枝條が母樹に附着してゐる
 まゝ之れに發根せしめて後
 に切斷して獨立の植物を得る
 方法であります。

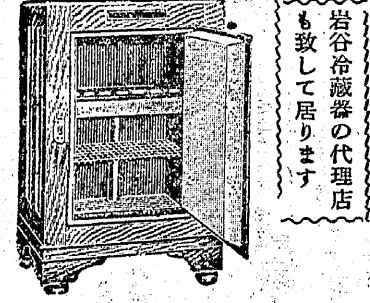
牛も豚も優良品の自慢
 平町 田町
三三三屋
 肉の御 用命は

平町	正	正	正	る	食	し
田町	し	し	し	る	事	づ
三三三	い	い	い	る	の	か
屋	い	い	い	る	出	に
酒	酒	酒	酒	酒	酒	酒
場	場	場	場	場	場	場

貸手車
 平町 田町
三三三屋
 岩谷冷蔵器の代理店
 も致して居ります

産科 婦人科 院長 長木村寅次郎
 外科 醫學博士 内木宗八
 藥局 藥劑師 玄蕃彌一
 平町新川町九一
 入院隨意 病室完備
木村病院
 電話一六四番

冷却力が永久に衰へず
 いつまでも使へる冷蔵器
 冷蔵器は一と夏や二と夏で構造に狂ひが来て冷へ方が
 弱る様では眞の文化的重寶と云はれません。其所で木
 材を最も嚴密にそれを完全なる設備の下に數年間十二
 分に乾燥して使用する。丸はん冷蔵器は絶対に狂ひを
 生ぜず永久によく冷へる經濟的冷蔵器として御愛用の
 皆様の間に古くから多大の御信用を博して居ります。



近代趣味
 パラソル豊富陳列
ツルヤ
 電話一四〇

内科 小兒科
 外科 花柳病科
 耳鼻咽喉科
 レントゲン科
 平町田町 電話五二三番
高久病院
 院長 醫學士 高久忠

診療科目
 一、齒科 一般
 保存科、補綴科、繼齒架工科、
 齒列矯正科、小兒齒科、齒槽膿漏科、
 一、口腔 外科
 一、レントゲン科
中野齒科醫院
 院長 日本齒科 醫學士 中野惠次
 醫學士 西川誠
 平町田町(松月堂向ひ) 電話五〇九番

安田系統の帝國海上
帝國海上火災保險株式會社
 平代理店 關内正一
 平町二丁目 電話一六番
 事務取扱者 阿部助次郎

表代城磐 酒銘
味美 濟經 味美
油醬心マヤ
 社會名合崎山
 番十話電

新設、電話二二二番
 何卒御利用の程を
 平町紺屋町二一
上原家政婦會
 (座談) 上原通子

耳鼻咽喉科専門
 醫學士 鈴木正男
 平町田町(電話五八番)藤田女學校前
鈴木醫院
 入院應需

三三三屋
 優良品の自慢
 平町 田町
三三三屋
 電話一六四番

(磐城共濟病院) 福島縣平町電六四一
 内科 院長 醫學博士 石山謙郎 (電話六四一)
 小兒科 醫學博士 石山謙郎 (電話三七〇番)
 産婦人科 醫學博士 五十嵐雄二 (電話二七二番)
 外科耳鼻咽喉科 醫學士 大町久藏 (電話二七二番)
 皮膚泌尿科 醫學士 前山澤 (電話二七二番)
 性病科 醫學士 石山謙郎 (電話二七二番)
 X線科 醫學博士 石山謙郎 (電話二七二番)
 衛生試驗所 醫學士 石山謙郎 (電話二七二番)
 藥局 藥劑師 鈴木本寶 (電話二七二番)
 事務局長 鈴木本寶 (電話二七二番)
 (毎日午前八時より午後十時迄診療)
 ●病室完備 ●入院隨意 ●

☑ 一般印刷物も御引受致します ☑
新しいわき新聞社